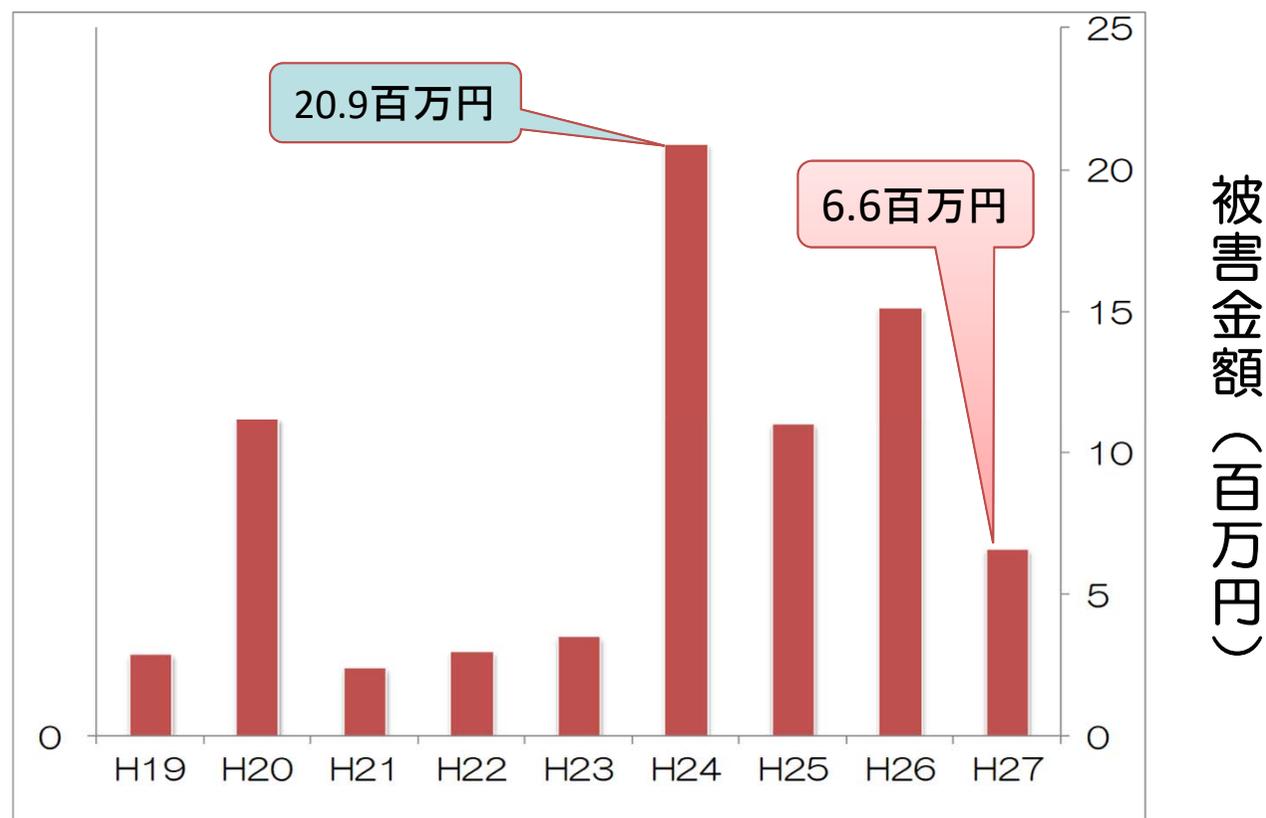


サルによる農作物被害について

【農作物被害】

H27被害金額は6.6百万円で、県全体の野生鳥獣被害金額に占める割合は4%。ただし、その被害の98%は、唐津地域に集中。

被害内容は、ハウスミカンの果実をほぼ全て食害する等、農家には甚大な被害となっており、生産意欲の減退を招いている。



サルの生息情報及び被害について

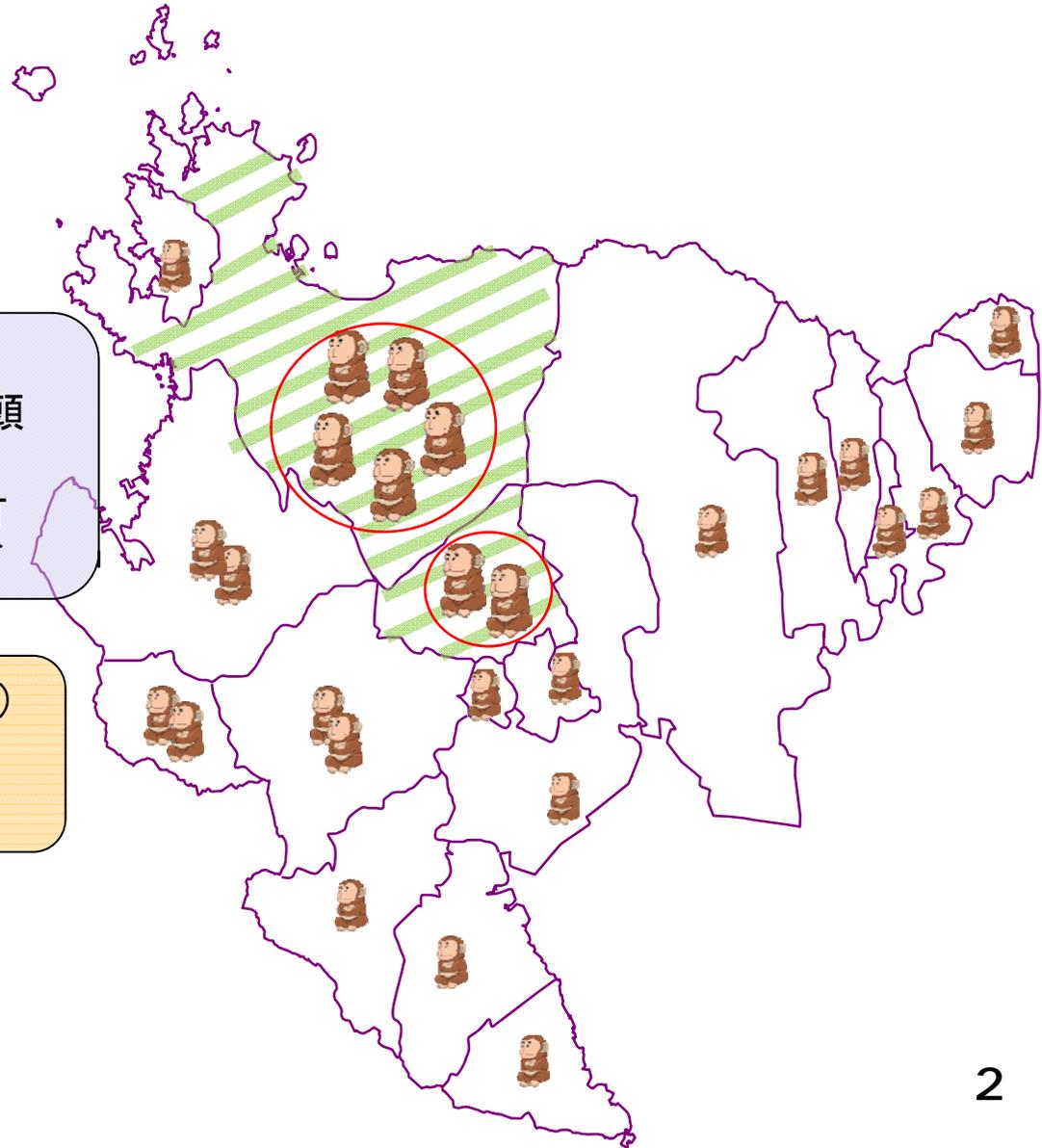
県内全市町でサルの目撃情報有り

サルの群が確認されている市町
○唐津市 ○多久市 3群、推定400頭

複数個体のサルが確認されている市町
○伊万里市 ○有田町 ○武雄市 など

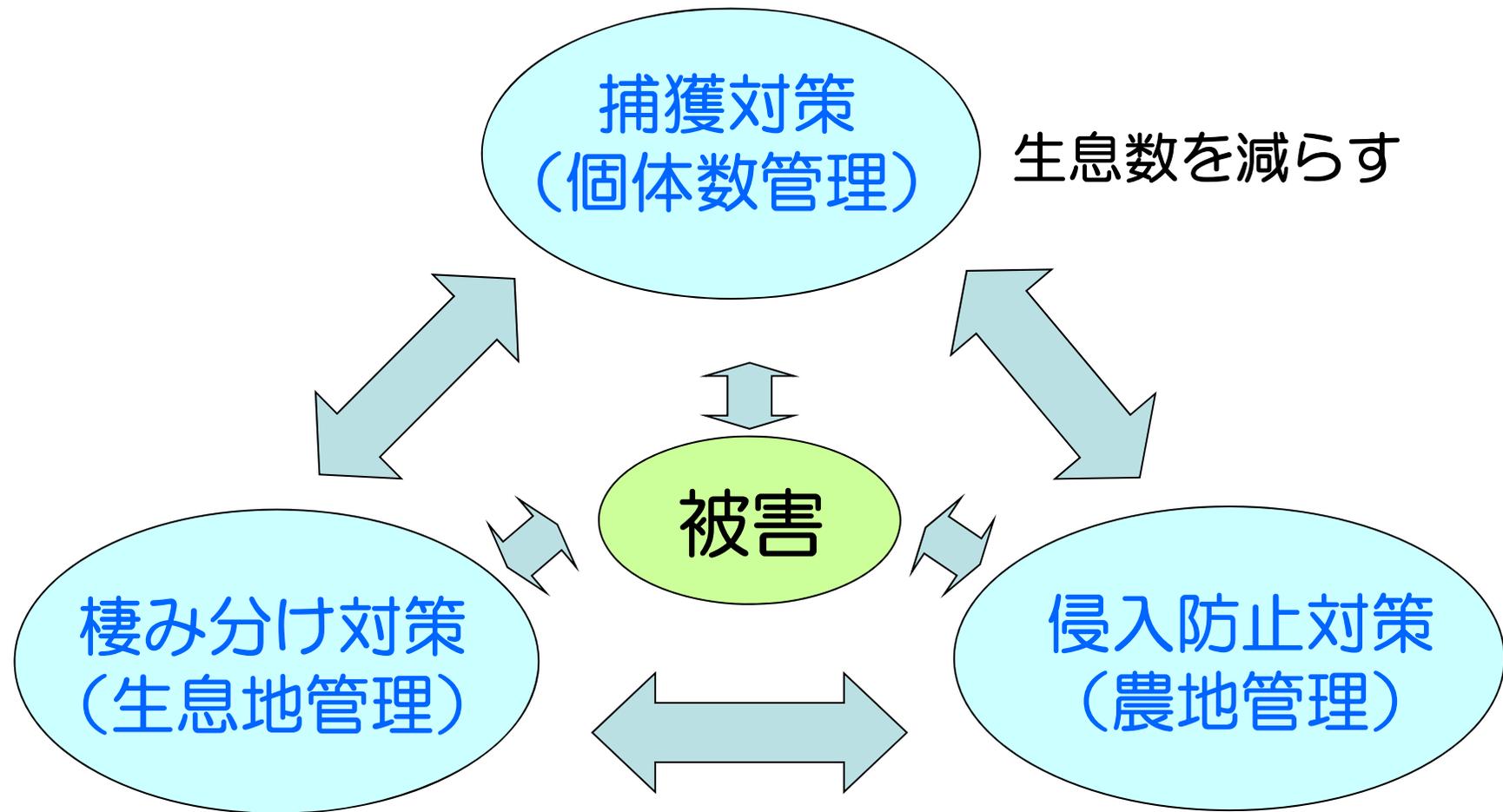
サルによる農作物への被害状況(H27)
○唐津市:6,546千円
○多久市: 79千円

サル捕獲実績(H27)
○唐津市:136頭
○多久市:1頭



サルの被害対策について①

3本柱の総合的な対策を推進



農地・集落周辺環境改善

防護柵の適切な設置・管理

サルの被害対策について②

1 群れザル対策

- ・ 行動域の把握
- ・ 群れ構成の把握
- ・ 群れサイズのコントロール
- ・ 分裂防止対策

2 ハナレザル対策

- ・ 出没状況の把握
- ・ 追払い、餌場をなくす
- ・ 必要に応じて捕獲

サルの被害対策の取組について

唐津市の群れザル対策の取組

国庫事業（ソフト事業1/2補助）の活用

生息数を減少させるための捕獲並びに発信器を活用したサルの実態調査の実施

捕獲したサルのうち、成獣メスに発信機を設置

サルの群れの追跡

群れごとの生息域や行動パターンを調査

【事業実施主体】
唐津地域協議会

唐津市
JA等

唐津市

佐賀県

国庫1/2補助
(H24より、補助残1/2を
半分ずつ唐津市と県で負担)



発信器を装着して放獣



箱わなでオトナメスを捕獲



テレメトリー調査により行動域と生息状況を把握しメール配信

SUB サル情報H26.03.19①

TEXT 0.5Kbyte

3月19日(水)

- 座主A群・座主B群(17:05)
宇木の洞泉寺の北東約400m、宇木と半田の境付近です。
- 南山C群(17:43)
浜玉町南山の高田付近で確認しました。高田バス停の西約300mです。
- 相知楠D群(16:04)
巖木町広瀬の西ノ谷付近で確認しました。まつら森林組合の南約200mです。



- 『獣害対策用野生動物捕獲システム』
- 動物の出入りをセンサーで感知し、希望の捕獲頭数に最も近い条件で自動捕獲する。

大型捕獲檻 (AIゲート<人工知能>)

サルの被害対策の取組について

各市町の主なハナレザル対策の取組

主な対策の流れ

- ①農家等から目撃情報
- ②職員等が現場パトロール
- ③追払い(サルに遭遇した場合)、周辺への注意喚起

(以下、いくつかの市町からの意見)

問題点

- ・農家は傍観している(特に被害が少ない場合)。
- ・市職員がサルに遭遇することが少なく、追い払いができていない。

今後の課題

- ・「目撃したら通報」「近づかない等の注意喚起」のみでなく、“サルを寄せ付けない地域づくり”を支援。